

国際情報学会 総合情報研究部会

第四回 「情報交流会」報告書

2013年6月12日

日本国際情報学会の分科会である総合情報研究部会では、平成24年11月17日東京での勉強会に引き続き平成25年6月8～9日に第四回勉強会を開催しました。

記

日程：平成25年6月8～9日 15時～21時

場所：箱根強羅 国民宿舎 太陽荘

開催の趣旨： 本学会は多分野の会員が多い。会員それぞれの専門知識の共有、意見交換を目的として開催。

プログラム：

2013年6月8日

15時30分～16時30分 長井 壽満 『国境とは・・・尖閣列島を例にして』 プレゼン、Q&A

16時30分～17時 近藤 大博 『最近の中国事情』 プレゼン、Q&A

20時～20時45分 増子 保志 『Japan カジノの可能性を探る、マカオカジノ vs Japan カジノ』、
プレゼン、Q&A

20時45分～21時30分 寺井 融 『ミャンマー事情』 プレゼン、Q&A

参加： 5名

総評

それぞれ違う分野の会員が参加。当初参加者6名の予定が、出張の為5名に減った。前半は中国の尖閣の問題及び、現在の日中間の現状報告・分析に基づいて議論した。近藤大博先生が5月末に中国出張しており、タイムリーな話題であった。

後半はマカオ、ミャンマーの現状を、現地で活躍している方々にプレゼンお願いした。東南アジアの社会・経済がホットに動いている。マス・メディアでは報道されない現地事情を聞いて、有益であった。研究会の写真を参考に添付する。



以上

(文責：長井)